



職場体験

鎮西中学校2年の原和希さんが、職場体験で美術展の取材に挑戦しました。下記の記事は、原さんの原稿を基に作成しています。



▲見る人を圧倒する作品が並びました

第48回公募田川美術展

芸術の秋 並ぶ力作

10月18日～30日にかけて、「公募田川美術展」が田川市美術館で開催されました。

展覧会は、18歳以上を対象とした6つの部門からなる公募展で、毎年田川市内外から多くの力作が寄せられています。作品は、ギャラリーA、B、中央展示室に展示され、18日～23日は洋画・工芸・彫刻の部門が、25日～30日は書道・日本画・写真が展示されました。

この展覧会に出展し、観覧に訪れていた谷口綾子さんは「自分の作品が展示されていてうれしい。ほかの人の作品には圧倒されました」と話しました。

目指すは優勝

実践空手武神會所属の選手4人

11月1日、「第5回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会」(11月20日神奈川県川崎市)に出場する実践空手武神會所属の選手4人が市役所を訪れ、伊藤信勝市長に健闘を誓いました。

選手たちは、それぞれが各九州地区予選に向け、厳しい鍛錬を重ね、その結果、九州地区代表として今大会の出場権を得ました。

伊藤市長は「結果を楽しみにしています。体調を整えて頑張ってきてください」と激励、中学女子55kg以上級に出場する永井玲緒奈さん(金川中3年)は「武神魂で、田川に1番大きなトロフィーを持って帰ります」と力強く話しました。



▲左から永井さん、山下源太くん、犬丸風太くん、不動蒔太くん

家族や応援してくれた人に感謝

全国障害者スポーツ大会金メダル

全国障害者スポーツ大会「おいでませ!山口大会」(10月22～24日開催)に出場した倉田和則さんが、陸上競技(車椅子50メートル、スラローム)で金メダルを獲得。11月11日に市役所を訪れ、伊藤市長に報告しました。

倉田さんは、今年の春から本格的にトレーニングを開始。練習場所の確保が困難な中、自宅周辺を毎日約1時間車椅子で走り込みを重ねました。そして、県大会で大会記録を更新し、さらに全国大会でも50メートルで大会新記録を樹立。スラロームと合わせて見事2冠を達成しました。

倉田さんは「家族の支えや周囲の応援で金メダルがとれた。今後の目標は、自分の記録を更新すること」と話しました。



▲市長に大会結果を報告した倉田さん



鎮西小学校で出前講座

「水のはたらき」について考える

10月12日、鎮西小学校で理科の時間を利用して、5年生に向けて遠賀川河川事務所の職員が「流れる水のはたらき」について出前講座を行いました。

最初は、室内で川の地形やはたらき、洪水やゴミ問題などについて、スクリーンに映し出された写真などを見ながら考えました。その後、中庭に出て大量の砂で直線と曲線の道を作った実験装置を使い、実際に流れる水のはたらきを観察。児童たちは、興味津々で実験に取り組んでいました。

参加した石原口真央さんは「画面で見ると、実際の実験で見ると水の流りが速くてすごかった。川に行くときは、絶対におとなの人と行きます」と話しました。



▲実験を観察する児童たち

かぼちゃ?いいえおイモです

川宮の原田さんが栽培

川宮在住の原田猛利さん(90歳)が、まるでかぼちゃのような形をしたサツマイモを栽培しました。原田さんが家庭菜園で育てたサツマイモを掘ってみると、いくつものサツマイモがぐっつき巨大化。驚いた原田さんが知人に見せたことで評判を呼び、新聞やテレビでも報道されました。

近くのホームセンターで50株の苗を購入し育てたこのサツマイモは、そのほとんどが同じような大きさ、形で、中には約2kgの重さのものもあったそうです。

原田さんは「とにかくその大きさに驚いた。好天が続き、太陽のエネルギーがうまく作用したのかも。来年はこのイモのツルを使ってもう一度栽培したい」と笑顔で話しました。



▲収穫したサツマイモを持つ原田さん

地域防災事始め

防災講演会

10月24日、青少年文化ホールで山口大学大学院准教授の瀧本浩一さん(田川市出身)とNPO法人ぼうぼうネット事務局長の山崎隆弘さんによる防災講演会が開催され、約160人が参加しました。

瀧本さんの講演では、実例やユーモアを交えた話で会場は引き込まれていました。その後、山崎さんによる簡易図上訓練が行われ、参加者は校区ごとに話し合いながら、地図上の危険な場所や避難所などに印をつけていきました。

講演の中で、瀧本さんは「災害時は、自分を守ることが人を助けることにつながる。まずは家具の固定などできることから防災対策を始めてほしい」と話しました。



▲講師の話に熱心に耳を傾ける参加者たち